

令和6年度福井県景気動向指数検討会 結果概要

1 日 時 令和7年3月5日(水)14:00～15:00

2 場 所 国際交流会館2階 第1会議室

3 委 員

前田 雅城（財務省北陸財務局福井財務事務所財務課長）

島田 康隆（日本銀行福井事務所所長）

橋本 しのぶ（日本政策金融公庫福井支店国民生活事業課長代理）

岡田 智絵（福井商工会議所人材確保支援センター課長）

松下 克志（福井労働局地方労働市場情報官）

増田 稚恵子（公益財団法人ふくい産業支援センター経営支援部チーフアドバイザー）

川村 香織（福井県商工会連合会専門経営指導員）

廣瀬 弘毅（福井県立大学経済学部教授） ※座長

（オブザーバー）

大霜 求己（福井県産業労働部政策参事）

（事務局）

福井県未来創造部統計調査課長 ほか3名

4 検討会における結論

新たに採用した指標の検証について

しばらく現状の指標で景気との連動性を確認し、問題があれば指標の入替を検討することとなった。所定外労働時間（宿泊・飲食サービス業）は足元の人手不足という問題と、その対応としての省力化やスポットワークのような構造的変化があるとの意見があり今後注視していく必要がある。

また、個人消費に関する指標である百貨店・スーパー販売額と小売4業態計販売額の2つについて、個人消費のカバレッジを広げることに意義があるが消費動向が似ているのではないかとこの意見があり引き続き注視していく。